



海を味わい 未来へつなぐ

海と日本プロジェクト in 埼玉県

海と日本プロジェクトとは
日本財団の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。私たちの生活を支えてくれる海の現状を伝え、海を未来へつないでいくためのアクションの輪を日本全国に広がっていきます。山や川に捨てられたゴミは、やがて海に流れ着き、美しい海の環境を壊していきます。魚たちのために、未来の海のために、私たちにできることは何かを考えてみましょう。

献立の説明と海についてのミニ学習の後、待ちに待った海彩給食の始まり！次のページでは、子どもたちが味わった海の幸についての献立メニューをご紹介します！

海彩給食当日の7月15日(木)、明覚小学校の6年1組にお邪魔しました。当日は、テレ玉の取材も入っていて大賑わい。給食センターの栄養士の豆田さんから提供されました。

今回、ときがわ町では「食と教育で選ばれる町」にちなんで、給食からのアプローチ。山の子どもたちが海を彩る魚や海藻などをおいしく味わうことで、海や魚を身近に感じてもらう、未来の環境を考えてもらう、その名も「海彩給食」が給食センターから提供されました。

現在、オールジャパンで推進している「海と日本プロジェクト」。埼玉県ではテレ玉が事務局となり、各市町村で「海を未来につなぐ」ための独自の取り組みを行っています。

海 なし県である埼玉県。その中でも私たちの住むときがわ町は、山林が7割を占めている、海から縁遠い町です。しかし、ときがわ町の山から流れる水は都幾川となり、荒川を経て、いずれ海に到達します。つまり、私たちの生活は海までつながっているのです。



完食でシールを
もらったよ！

